

1. 現状と課題

2. オープンデータから明らかとなった現状

①市への来訪者の実態 (RESAS)

- **県内からの来訪者：**
周辺自治体（土浦市、石岡市、つくば市、小美玉市等）が上位。11月に増加傾向。
- **県外からの来訪者：**
JR常磐線や常磐自動車道周辺自治体（千葉県柏市、松戸市、東京都足立区、江戸川区等）が上位。

②市の入込観光客の実態 (統計データ)

- **過去3カ年の推移：**
概ね30万人前後で推移。観光果樹農園やかすみがうら祭が主な誘客コンテンツ。
- **月別の来訪者状況：**
9月から11月に集中。観光果樹農園のピークやかすみがうら祭開催が主な要因。

③歩崎地域の実態 (統計データ)

- **過去3カ年の推移：**
概ね8万人～9万人前後で推移。水族館、歴史博物館、あゆみ祭り、帆引き船フェスタが主な誘客コンテンツ。
- **月別の来訪者状況：**
5月および7月に増加傾向。GW期の水族館の来客増や、あゆみ祭りの開催が主な要因。

3. アンケート調査から明らかとなった現状

①興味・関心の高い分野

- **県平均との比較：**
イベント、歴史・文化資源、観光レジャー施設への興味関心が高い（果物狩り、各種お祭り、伊東甲子太郎、帆引き船、博物館、水族館等）。

②観光に関するトレンド

- **旅先決定の際の重視事項：**
地域ならではの料理を楽しめること（食）、魅力的な観光施設・スポットがあること（場）、リラックスできること（癒し）、その土地の歴史や文化を学んだりできること（学び）を重視。

③情報収集の方法

- **最も参考にする情報源：**
Webサイト、旅行雑誌（るるぶ、まっぷる、ことりつぶなど）について、「自治体や観光協会のホームページ」が上位。

④歩崎地域への来訪者

- **県内からの来訪者：**
近隣自治体から車で来訪が多く、特に水族館は子連れ家族が多い。
- **県外からの来訪者：**
東京都、千葉県、埼玉県などの関東圏からの来訪が多く、特に交流センターでは東京都からのサイクリストが多い。

⑤訪問時の行程

- **平均立ち寄り箇所数：**
交流センターと水族館来訪者は平均2.3箇所、歴史博物館は平均1.6箇所立ち寄り。
- **市内外別回遊状況：**
交流センター来訪者は広域的に回遊し、歴史博物館と水族館来訪者は市内を回遊する傾向。

⑥歩崎地域のイメージ

- **歩崎地域共通のイメージ：**
全調査地点で「自然が豊かな地域」が最上位。
- **調査地点別のイメージ：**
交流センターでは「自転車を使ったイベントが盛ん」、「癒し」、「食べ物おいしい」、歴史博物館では「歴史や文化を感じる」、水族館では「癒し」がそれぞれ上位。

⑦体験観光に対するニーズ

- **歩崎地域共通のニーズ：**
全調査地点で「湖上体験」が上位。その他、「食体験」、「自然体験」等が続く。
- **調査地点別のニーズ：**
交流センターでは「リラックス体験」、歴史博物館では「歴史・文化体験」、水族館では「知育体験」がそれぞれ上位。